





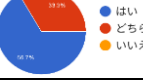
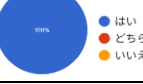








	公表	事業所における自己評価結果
--	----	---------------

事業所名	総合発達支援プラザ ふらっぷ2号館	公表日	2026年3月10日
------	-------------------	-----	------------

		チェック項目		工夫している点	課題や改善すべき点
環境・ 体制 整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●利用人数によってクラスを分けたりなど環境を設定しながら使うことができる。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●スタッフの配置やクラス分け、環境調整などを工夫して安全に過ごせることや必要な支援を行えるように配慮している。	●支援度の高い児が複数いる等、日によっては不足を感じる時もある。 ●基準人員よりも多く配置はされているが、面談や会議などで減になるときや、支援量が多い児の利用が重なる時など、もう少しスタッフがいると尚良いと感じることがある。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●クールダウンが必要な時など、子どもの様子に合わせて個室で落ち着けるように促している。	●日によって、個別の部屋や場所を使いたい児が複数いる場合もある。
業務 改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●毎年年度末に利用アンケートを実施し、さまざまなご意見をいただいている。回答内容はスタッフ間で周知し、改善点などについても話し合う機会を持っている。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●毎年、上期・下期に分けて事業所の目標を立て、その中で業務改善や支援力向上に取り組んでいる	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 		●第三者による外部評価は実施していない。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●法人内研修では、経験年数別の研修に参加している。事業所内での勉強会の機会もある。	
適切 な	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●支援プログラムを作成し、ホームページ上に掲載している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●面談前のモニタリング、面談後のフィードバックのミーティングを行いスタッフが参加している。	
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●面談前、後とスタッフで計画作成の話し合いを実施している。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 	●支援計画の内容を共有し、活動案作成時に活用されている。 ●それぞれの支援目標を日々の活動計画に盛り込みやすいように、リスト化している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 		
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	<ul style="list-style-type: none"> ● はい ● どちらともいえない ● いいえ 		

支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。		●各曜日担当者が立案し、チームで確認している。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。		●内容やねらいによって、繰り返し取り入れている活動もある。 ●繰り返し行うことで習慣化を図りたいものは繰り返し取り入れている。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。		●小集団活動による支援を行っている。 ●小集団の活動場面で実施する際も、課題の段階付けや補助具の使用など個人に合わせた取り組み方法で取り組みを支援している。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。		●勤務時間の違いなどで全てのスタッフを揃えて実施することは難しいが、掲示や受け入れスタッフからの申し送りにより連携を図っている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。		●支援終了後のミーティングは必ず毎日実施し、ヒヤリハットの確認や、支援内容、子どもの様子の共有を行っている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。		●支援記録の徹底を行えている。支援計画立案に向けたモニタリングの会議などで、記録からも児の様子や課題などを吸い上げている。	●記録から支援の検証や改善につなげる視点を増やしていけると良いと思う。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。			
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。		●基本的に窓口担当のスタッフが参加し、状況に応じて必要なスタッフが参加している	
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。			
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		●担当者会議に地域の園が参加される場があり、情報共有を行っている。必要に応じて、電話での相談等にも応じている。 ●担当者会議に出席し、情報の共有を行っている。	
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。		●希望者には申し送り書として支援内容等を学校側に伝えたり、担当者会議に出席するなどしている。 ●申し送り書の作成など、就学に向けての情報共有を行っている ●申し送り書の作成、必要に応じて担当者会議に出席している。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。		●依頼を受けて、研修会のパネリスト等で参加をした。	●研修への参加や個別に助言等を受ける機会は多くないが、地域の会議等への参加で情報共有等を行うことはある。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。			●活動のなかで公園に出かける等にとどまっており、交流の機会は持っていない。 ●当事業所は地域の園と併用しているかたがほぼであり、交流の機会は企画していない。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。		●そうするように努めている	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。		●ふらっぶ全体で勉強会を実施している。 ●今年度は保護者交流会を複数回実施できた。ペアレントサポート講座について、企画したが実現できなかった。今後も交流会、勉強会の機会を設けていきたい。		

保護者への説明等	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。		●契約の際に分かりやすい説明を心がけている	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。		●面談の時にお子さんや保護者の意向を聞き取り、児の姿を共有しながら目標を設定するようにしている。	
	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。			
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。		●日々の受け入れ、申し送り時に加え、必要な場合は個別相談へつなげている。 ●送迎時や必要に応じて個別相談の機会をお伝えしている	
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		●年4回の保護者交流会を実施することができた。きょうだい同士の交流については、ふらっぶ全体の行事（秋祭り）に参加していただいた程度でとままっている。 ●保護者交流会を実施している。直接的なきょうだいの交流はないが、行事で秋祭りをした際にきょうだいの参加も募っている。	●保護者の交流会の時等、きょうだいを含めたお子さんの預かりの希望の声がある。今後どのように対応していくと、交流会が更に活性化するかを検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。			
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。		●フォトフレームを活用し、毎日の活動の様子を発信している。（事業所内への掲示）	●HPやSNS等事業所外への発信は積極的に行ってはいない。
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。			
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。			
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		●近隣の高齢者の事業所へ作品のお届けに行ったり、作品をいただいたり等の交流を持たせた。（同一法人の事業所に）	●地域住民の方の招待等は行っていない。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。			
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。			
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。		●契約の際に聞き取りを行っている。必要に応じて主治医の指示書をいただいたり、同一施設内に常駐する看護師と情報の共有を行い、緊急時の対応に備えている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。		●アレルギーの診断書の控えを提出していただき、給食の提供については個別に栄養科スタッフと面談をさせていただいている。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。			
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。			●事業所内に掲示している。保護者への周知については引き続き行っていく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。			
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。			

53	<p>どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。</p>	 <p>● はい ● どちらともいえない ● いいえ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 現在、身体拘束の検討が必要な児の利用はない。 ● 身体拘束についての事業所としての方針は、契約の際に保護者に説明している。子ども本人に向けての説明についても検討していく。
----	---	---	--